

「行政報告」町長

「令和2年度以降の幌延
深地層研究計画」の受入に
当たり、各年度、前年度の
研究成果及び当年度の研究
計画が、三者協定に即して
進められているかを北海道、
幌延町、原子力機構、有識
者で組織する確認会議で確
認している。

今年度も確認会議におい
て、研究成果報告、研究計
画についての説明を受け、
確認会議座長から三者協定
との整合性等について確認
できた旨、報告を受けた。
幌延町も報告を踏まえ、確
認した旨を原子力機構理事
長へ文書で通知した。

幌延深地層研究センター
地下施設は、最終処分場と
しない場所で、技術を磨く
国内唯一の「ジェネリック
地下研究施設」として、重
要な施設であり、安全管理
に細心の注意を払い、三者
協定の遵守を大前提に情報
の発信のもと、地層処分技
術の基盤整備推進に取り組
んでいたべくよう求めている。

「教育行政報告」教育長

各学校はコロナ禍におい
て「学校の新しい生活様式」
に沿った感染予防対策を講
じながら学習に取り組んで
いる。

幌延中学校は、北海道教
育委員会の「令和2年度子
どもの心に響く道徳教育推
進事業」の採択を受けた。

11月7日名寄地区中学生
新人バドミントン選手権大
会男子シングルスで優勝し、2
年岡田大輔君が優勝し、1
月9日に北見市で開催され
る第39回北海道中学生新人
バドミントン競技選手権大
会の出場が決定した。

各社会教育施設は道内や
管内の感染状況を注視しな
がら、徹底した感染予防対
策を講じる。

少年野球チームの技術向
上を目的とする北海道選抜
チームの一員に幌延小学校
6年生新野農君が投手とし
て選抜された。12月19日か
ら、岡山県で開催される2
020西日本選抜学童軟式
野球倉敷交流大会に出場す
る。

地域の課題をとらえて

3氏が一般質問



齊賀 弘 孝
て バイオマス構想につい

バイオマス構想について

質問 バイオマス応援団体
である稚内信用金庫、JA
幌延町、土木建設業者、設
備会社、乳業会社へ情報提
供しているのか。

町長 この事業自体がバイ
オマス都市構想の認定を受
ける際に、稚内信用金庫も
一緒に事業実施に協力して
いただくよう申請をしてお
り、事業の経過報告の際も、
会議に出席していただいて
いる。

この1年間、新型コロナ
ウイルス感染症の影響で会
議が進んでいかなかったと
いうことは間違いない。

以前からも指摘があるよ

うに、農家で「やってみたい
という声があればやりたい
との話をしたが、近年農家
戸数が減り、これ以下の金
額で行うのは厳しくなっ
てきている。どのプランにす

るのかによって、金額が大
きく変わるため、建設費も
想定できないと言われてい
る。

これはかん排事業の中で
やる事業だとすると、この
程度安くなるが、これを新
規で全一からやれば、こ
のくらいの額になるという
ことも見えてきている。ど
こかの農家が手を挙げてく
れて、話を掘り進めてセツ
ティングをすれば、この額
になるというのが見えてき
た。金融機関も農協も建設
業者も含め、議論の中に入
ってもらいながら進めてい
くことだと思っているが、
そこが止まっている。

だが、農家にはやりたい
という人は沢山いるはずだ
しかし、金銭面が課題であ
り、費用が安くはないとど
うにもならず、できるだけ金
額を抑え、この額ならでき